

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○11月2日～

今週は米国の大統領選があります。開票は日本時間の4日になりますが結果が大きくずれ込むという話もあり、4日に確定するののかも不明です。前回と同じくらいの時間なら4日の昼過ぎくらいに結果を受けて、大きくマーケットに動きが出る可能性もあります。この時も正式発表は夕方になりましたが昼過ぎにはほぼ結果が見えたことで相場に動きがありました。選挙直後に乱高下するリスクを想定しておきたいです。

<ドル/円>

ドル/円は104円で8月以降3度下げ止まっているので、ここを維持できるかどうか。もし、割り込んでくるとコロナショックの時の101円が視野に。早期に105円台後半まで戻さない限り、下値トライのリスクが続きそうです。

<気になるクロス円>

クロス円も下落リスクがあります。ユーロは欧州のコロナ感染拡大など悪材料もあり、日足でも下げトレンドが続いています。豪ドルも週足で見ても下げに転じたように見えるため安値更新を警戒したいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では日銀・金融政策決定会合議事要旨の発表などがあります。

米国では10月製造業PMI（改定値）、10月ISM製造業景況指数、10月10月ADP雇用統計、9月貿易収支、10月サービス部門PMI（改定値）、10月ISM非製造業景況指数、前週分新規失業保険申請件数、FOMC政策金利発表、パウエルFRB議長定例会見、10月雇用統計などが発表されます。

欧州ではユーロ圏とドイツで10月製造業・サービス業PMI（改定値）、ユーロ圏で9月小売売上高、ドイツでは9月製造業新規受注、9月鉱工業生産などがあります。

ほかには、オーストラリアと英国で政策金利、英国で英中銀資産買取プログラム規模、中銀金融政策委員会（MPC）議事要旨の発表などがあります。